

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公開番号】特開2009-195352(P2009-195352A)
【公開日】平成21年9月3日(2009.9.3)
【年通号数】公開・登録公報2009-035
【出願番号】特願2008-38203(P2008-38203)
【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 5 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体にX線を照射するX線源と、前記X線源に対向して配置され前記被検体を透過して前記X線に基づいた画像データを出力するX線検出器と、前記X線源と前記X線検出器の回転によって得られる画像データからX線CT像を再構成する画像再構成手段と、を備えるものであって、

前記X線CT像にアーチファクトを発生させる少なくとも一对のX線高吸収体が前記被検体に内蔵されている際、前記被検体と前記X線源および前記X線検出器の位置関係を検出する検出手段と、該検出手段によって得られる前記位置関係に対応させ前記画像データの検出領域から前記一对のX線高吸収体を含む領域まで延長させた領域内の前記X線CT像を作成し、該X線CT像に基づいて前記一对のX線高吸収体の間に生じるアーチファクトを補正する補正手段と、を備えることを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】

前記検出手段は、前記画像データ内に複数の領域を設け、該複数の領域内の画像データに基づいて、前記位置関係を検出することを特徴とする請求項1に記載のX線CT装置。

【請求項3】

前記位置関係の検出は、前記複数の領域の画像データのそれぞれの平均輝度値を用いて行うことを特徴とする請求項2に記載のX線CT装置。

【請求項4】

前記複数の領域は、前記画像データの左右端部に設定することを特徴とする請求項2又は3に記載のX線CT装置。

【請求項5】

前記延長の幅を任意に設定する入力部を備えることを特徴とする請求項1に記載のX線CT装置。